



図10 視床切片における野生型とPLCβ4-遺伝子欠損型マウスのmEPSCs周波数

a.野生型マウスのアキュート視床切片から記録したmEPSCs(赤の横棒で示す)の代表例。b. PLCβ4-遺伝子欠損マウスのアキュート視床切片から記録したmEPSCsの代表例。c. 野生型マウスのmEPSCsの数を周波数 ($1/\Delta t$)に対してプロットした ($1/\Delta t$; t はmEPSCsの間隔) 代表例。mEPSCsの周波数分布は指数関数的減衰曲線(実線)で近似した。d. PLCβ4-遺伝子欠損マウスのmEPSCsの数を $1/\Delta t$ に対してプロットした代表例。e. 平均減衰定数 (赤と青の実線)を野生型マウスのmEPSCs周波数分布 (青点線)と、PLCβ4-遺伝子欠損マウスのmEPSCs周波数分布 (赤点線)から求めた。その減衰定数 τ は次式： $f(x) = A \exp(-x/\tau)$; x は周波数で A は任意定数で定義される。PLCβ4-遺伝子欠損マウスの平均指数関数的減衰定数 (赤実線)は、野生型マウス (青実線)よりも高い。f. PLCβ4-遺伝子欠損マウスと野生型マウスの減衰定数平均値。上端と下端の水平線は標準偏差を示し、中央の水平線は中央値を示す。PLCβ4-遺伝子欠損マウス ($n = 5$)の減衰定数平均値は、明らかに野生型マウス ($n = 4$)よりも高い ($p = .26$; スチューデントのt検定)。(Kameyama et al., 2003より引用)